

学校だより 横浜市立南台小学校

令和2年(2020)年9月30日

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamidai/> Tel 842-1478~9

スマイル&チャレンジ!みんなつながる南台



共に子どもたちを守る取組を

校長 角井 治朗

厳しかった暑さもようやくやわらぎ、日ごとに秋の気配が深まってきました。学校は、前期の終わりを迎え、これまでの活動についてまとめたり振り返ったりしながら、それぞれの成長を確認しているところです。保護者の皆様には、先日行われた懇談会にお越しいただきありがとうございました。今年度は、コロナ禍の中、学校説明会も実施できていなかったため、今回の懇談会の時間を少しいただき、学校経営方針などをお話しさせていただきました。また、新型コロナウイルス感染症の終息が依然として見通せない中ではありますが、学校としての対応や今後の見通しなどについてもご説明させていただきました。今後の情勢により変更を迫られることもあるかもしれませんが、今できることに最大限取り組むというスタンスは変えることなく、取り組んでいきたいと思っております。

ところで、9月初旬、横浜市内の小学生が連れ去られる事件が発生しました。幸い子どもは3日後に無事に保護されましたが、この事件には、これから子どもたちを自身が、そして私たち大人が気をつけていかなければいけないことがたくさんあると感じます。特に心配になったのが、今回の事件の発端が「オンラインゲームでのつながり」にある点です。スマートフォンやタブレット、ゲーム機等、インターネットにつながる手段が多様化しより身近になることで、離れた人、不特定な人とのかかわりが広がると同時に、これまで無かった危険も次々と生まれています。そして、その変化は、大人の認識を越えて急速に子どもたちの中に広がっているようです。

今般、横浜市立学校においてもGIGAスクール構想が前倒しで動き始め、インターネット回線の整備やタブレットの配置計画などが進んでいます。もちろん、これからの時代を生きていく子どもたちにとって、こういったICT(情報通信技術)機器を活用していくスキルは必須ともいえるかもしれません。また、子どもたちを取り巻く環境が複雑になる中、ICT機器が子どもたちの学びを支える一つの手立てとなる可能性も大いにあると感じます。一方、今回のような事件を目の当たりにするにつけ、子どもたちがこういった機器を、安全で豊かな生活に生かしていくためのモラルやリテラシーも同時に身に付けていかなければいけないことを痛感します。また、機器を通した学びだけに頼ることなく、実物や実体験から感じ、考え、学ぶことの大切さを学習の中にしっかりと位置付けておかなければなりません。保護者の皆様と学校が、これから進んでいく新たな取組について、その価値と課題をしっかりと共有し、共に子どもたちを守る対策を講じていくことの重要性を感じています。